

学校評議会議事録

日 時 令和6年9月14日(土) 13:00～15:00

出席者 ●学校評議員

兵庫県立こども病院

診療放射線技師

北播磨総合医療センター

臨床工学技士

医療法人社団 吉徳会 あさざり病院

視能訓練士

みのだ整形外科クリニック

理学療法士

介護老人保健施設 リハ・神戸

作業療法士

朗源会 大隈病院

言語聴覚士

医療法人社団関田会ときわ病院

歯科衛生士

●学校職員

学校長 各科1名 事務担当者2名

学校評議員の欠席者 なし

司会 学校評議会開会の挨拶

学校長 評議会開催に先立ちまして評議員の先生方のご存知かと思われませんが、本校卒業生がハラスメントを受けたと本校に対し訴訟を起こしたとの記事が出ました。このことに関しましては現在事実関係の調査と、訴訟対応を行う予定となっております。ハラスメントについては、学生だけでなく教職員、関係者に対しても安全かつ尊厳をもって扱われる環境作りに全力をつくし、今後も取り組んでいきたいと思っておりますので、先生方からもお言葉をいただきより良い方向に進めていきたいと思っております。今日の評議会もその一環だと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会 学校評議員を学科の建制順に紹介し、その後学校長をはじめ各学科代表者を紹介。
本日、学校評議員7名の方が出席され、評議会は成立されたため、議事に入る。評議員より議長1名を選出。

議長 議長挨拶の後、議事録署名人に評議員2名、書記に事務担当者1名を選出。
議題に移り各担当の先生方から説明をお願いします。

【議 題】

1. ガバナンスについて

学校長：・学校の沿革を報告(自己評価報告書；1～2 ページ)

・運営組織図・本校委員会組織の在り方を報告(自己評価報告書；3～4 ページ)

教員は学生指導だけでなく委員会活動を通し専門職を超えた形でチームワークというものが功を成されているのが現状であります。

・学科の構成、学生数、留年、退学状況を報告(自己評価報告書；5～6 ページ)

本校は現状、入学定員対して在籍者数が70%となっております。留年及び退学状況に

については、成績不振から意欲の低下という流れになっており、今後の検討課題です。

- ・理念・教育目標・目的について(自己評価報告書；7～15 ページ)

本校の目的は、専門的知識及び技術、技能を教授研究し、豊かな教養と人格を備え、広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与することのできる優れた専門職者を育成することを目的としています。これを達成するために3つのポリシーを設定しています。初めにディプロマポリシー（卒業認定の方針）です。卒業時のレベルで、こういう人に臨床現場で働いてもらいたいという各科の基準を掲げています。次にカリキュラムポリシーです。ディプロマポリシーに示した要件を満たすために教育課程の内容、実施の方針を各科・学校全体で到達するという形をカリキュラムポリシーとしています。次にアドミッションポリシーです。カリキュラムポリシーを学生が遂行できるよう単位を取って、その流れで勉強していただきたい。それを達成できるような学生を入学者受け入れの方針としています。各科、同じ医療専門職で共通部分も多々ありますが、各科の特色として3つのポリシーの中でも少しずつ違っているというのが今の状況になります。

- ・評価の基本方針について(自己評価報告書；16 ページ)
- ・本年度の重点目標について(自己評価報告書；17 ページ)
- ・学校の目標(今後5年間)について(自己評価報告書；18 ページ)
- ・学校運営について(自己評価報告書；19～22 ページ)

運営方針/事業計画/運営組織/人事・給与制度/コンプライアンス体制/
情報システム

事業計画の現状につきましては、今後18歳人口の減少は更に進み、4年制大学への進学志向も高まる中で専修学校を取り巻く環境はますます厳しくなってきます。本校も近年の応募状況を踏まえ、理学療法士科の定員を令和6年度入学生から40名に変更し、入学者数が減少している言語聴覚士科については、令和6年度入学生を最後とすることになりました。本日の神戸新聞に掲載されていた記事で大学の話になりますが、約6割の私立大学が定員割れをしているということでした。定員1,000人以上の大学につきましては、定員充足率100%という所は多いそうです。1,000人未満の大学では70～90%、私立短大の平均が一番悪く70.8%でした。考察として1つ挙げているのが、大学の 신설、私立大学でも定員が昨年よりも1,239名増加している。一方、18歳人口は33,965人減少という現状があります。こういう難しい状況ではありますが、より良い医療職を育成していくために本校では今まで通り努力をしていくということで考えております。

- ・人事・給与制度について(自己評価報告書；21～22 ページ)
- ・財務について(自己評価報告書；23～24 ページ)
財務基盤/予算・収支計画/監査/財務情報の公開
- ・法令等の遵守について(自己評価報告書；25～27 ページ)
関係法令、設置基準等の遵守/個人情報保護/学校評価/教育情報の公開

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった)

2. 教育について

教員：・教育理念・目的・育成人材像について(自己評価報告書；28 ページ)

理念・目的・育成人材像

・教育活動について(自己評価報告書；29～31 ページ)

目標の設定/教育方法・評価/成績評価・単位認定/教職員組織

・学修成果について(自己評価報告書；32～34 ページ)

就職率/資格・免許の取得率/卒業生の社会評価

・学生の募集と受入れについて(自己評価報告書；35～36 ページ)

学生募集活動/入学選考

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった)

3. 学生支援について

教員：・学生支援について(自己評価報告書；37～43 ページ)

就職等進路/学生相談/学生生活支援/保護者との連携/卒業生・社会人

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった)

4. 環境整備について

5. 社会貢献・地域連携について

教員：・教育環境について(自己評価報告書；44～47 ページ)

施設・設備等/学外実習・インターンシップ等/防災・安全管理

・社会貢献・地域連携について(自己評価報告書；48～50 ページ)

社会貢献・地域連携

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった)

議長 引き続き学科からの報告をお願いします。

【学科報告】

診療放射線科

教員： 診療放射線科の報告（自己評価報告書；51～52 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

(質問・意見等はなかった)

臨床工学科

教員： 臨床工学科の報告（自己評価報告書；53～54 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 国家試験について不合格者がでた原因と今後の対策案は何か考えておられますか。

教員： 学生の特徴として、令和 5 年度に関してはグループワークにより、積極的に勉強してくれたのですが、うまくいかなかったというところと臨床実習終了が 11 月で 12 月、1 月に関しては授業がない日も多く、登校がなかったというところが原因かと考えられます。最後に、追い込みをかけましたが国家試験合格まで行けなかった学生があったというところでした。それを踏まえて、今年度は、12 月、1 月の平日に小テストの実施を検討しています。その小テストを科目試験の成績に加味するという形で平日の登校、国家試験に対する意欲や学力の向上を図って、早めに学力を上げてもらうということで対策を考えています。

評議員： 社会活動について認知度を上げるための母校訪問は、教員と学生が出向いて高校の先生と話すということですか。

教員： 普段の出前授業に関しては教員だけが出向いて高校生に説明を行うのですが、夏休みに関して本校の学生と一緒に出向き、高校の先生と話をしました。

評議員： 臨床工学技士の認知度が低いので現役の臨床工学技士が仕事の話や質疑応答という形でいけば、もう少し興味を持ってもらえるのかなとは思っているのですが。

教員： 参考にさせていただきます。

視能訓練士科

教員： 視能訓練士科の報告（自己評価報告書；55～56 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

（質問・意見等はなかった）

理学療法士科

教員： 理学療法士科の報告（自己評価報告書；57～58 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 実習の機会がかなり増えてきて、去年までの協議会の中では、実習が途中で中止になり患者さんと携わる機会が減ってしまったなどお聞きしましたが、今年はスムーズに受け入れていただいたということでした。学生にとっても先生方にとっても学内実習をするのは大変だったと思うので、非常にいいことではないかなと思って聞かせていただきました。6 年度の入学者数ですが 40 名定員で 24 名ということですが、今までは安定していた入学者数だなどと思いながらずっと聞かせてもらっていたのですが、受験者数も少なかったのですか。

教員： 受験者数も少なかったです。その辺り全体報告であったように、オープンキャンパスなどで参加される生徒さんに話しかけるなどオープンキャンパスの時から気を付けるようにし、学生確保をさらにしていかなければいけないというところで積極的に動いています。本当に魅力を伝えるためにオープンキャンパスでの体験であるとか、そういったところも少しずつ話し合っ、面白い企画を考え、頑張っていきたいと思っています。

評議員： 全体的に在籍者数も 50～60%ぐらいが当たり前になってきたのかと思いながら、少子化の中で難しいと思いますが、やっぱり学生がたくさんいると、活気もでたり学校の風土みたいなものが作れるのかと思います。是非そういうところに近づいていただきたいと思っております。Instagram も拝見しています。たくさんの方が見ていると思いますので、その辺りをしっかり進めていってもらえたらと思います。

作業療法士科

教員： 作業療法士科の報告（自己評価報告書；59～60 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 当施設、関連施設において今年は、神戸総合医療専門学校の学生を 2 名受けさせていただいております。いろんな職員に伺ったところ、日常での対応や就職してからの臨床業務が非常に充実していると感じています。現場レベルでもかなり戦力になっている OT が多いと思います。社会活動の認知度に関しましては、学校、教員の方たちだけの問題だけでなく、現場レベルとか職業団体の問題でもありますので、認知度を上げるための努力をさせていただけたらいいかなと感じております。

言語聴覚士科

教員： 言語聴覚士科の報告（自己評価報告書；61～62 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 新須磨病院などしっかりとした関連の病院がありますので施設を利用したセラピストのかっこいいところ、臨床現場を見せるというところを実行していただいております。非常に嬉しく思っています。個人的には 30 年近く臨床に携わり、リハビリテーションを行っています。今、ここに並んでおられる先生方の中で、視能訓練士以外の職種の方とは一緒に仕事をしています。歯科衛生士、臨床工学技士であったり、放射線技師であったり、一緒に仕事をしている現状です。今まで、臨床の現場を見せることによって、学生のモチベーションを上げたり高めたりできると話をしてきました。ただ各科ごとの職種を知ってもらうのは非常に大事だと思いますが、1 人の患者さんに対し、いろんな職種の方が連携しているという姿を見せるのも、具体的なイメージができるのかなと考えました。やっぱり一番いい場面は臨床の場と信じています。これは他の学科の先生方にもお伝えできたらなと思いました。

歯科衛生士科

教員： 歯科衛生士科の報告（自己評価報告書；63～64 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 今年度初めて国家試験を受けるということですが、現在の国家試験を見ていると臨床に即したことが出てきていると思います。チーム医療に求められる大切なこと、その中で疾患の占める分野がものすごく増えてきています。そういうところを実感してもらいながら、国家試験に望んでもらいたいのですが、その辺どういう風に具体的に進めていこうと思っておられますか。

教員： 本当に、歯科医師、歯科衛生士の国家試験の合格率が年々下がっていると先ほど説明させていただきましたが、教科書を見るだけではなく、実習へ行ったらしっかりと学んで出来るような問題や考える問題が増えてきております。現場の衛生士さんに来校いただき学生には、しっかりと講義を受けてもらい実習先でも同じようにしっかりと学んでくるように指導しております。今年度は、大学を退官されました衛生士の先生にお願いし、非常勤講師として国家試験対策に来ていただくことになっています。国家試験の問題にどう取り組めばいいのか、勉強の仕方など教えていただき、私達も国家試験合格に向け、どのように指導していくべきなのか教えてもらいながら、一丸となり臨床に沿った問題も加えて国家試験の対策を行っていこうと思います。

臨床工学専攻科

教員： 臨床工学専攻科の報告（自己評価報告書；65～66 ページ）
教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

（質問・意見等はなかった）

議長 他に意見等がありませんので、本日の議事を終了させていただきます。中長期的には 18 歳人口の減少が進む中、入学者数の確保に向けては魅力的な学校づくりが大事だと思います。本日は、学校全体、そして前向きなご報告ができた良い評議会となりました。ありがとうございました。最後になりますが、円滑な進行に ご協力いただき、誠にありがとうございました。

学校長 議長の鈴木先生、本日の進行どうもありがとうございました。本日 2 時間という短時間ではありましたがいろんなご意見をお伺いしました。まだまだ、教育活動の向上、学校運営の改善というところで本当に切羽詰まった状態だと思います。現場で働いています先生方の外からの見方、今日のこの時間に限らず、今後も何かございましたら是非いろんなご意見をいただければ幸いに思いますので、何卒よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

司会 学校評議会閉会の挨拶。本校に対する意見等があればアンケート用紙返送を依頼。